

現場管理	6	(社)日本能率協会 専任講師 中村茂弘
名称	経営直結型5S改善シート	

期待するアウトプット

- 問題の「見える化」を図る
- ムダ排除を進めて美化を得ること、費用対効果で経営貢献利益を得る
- 小さい自律改善が大きな経営効果となる「見える化」を示す

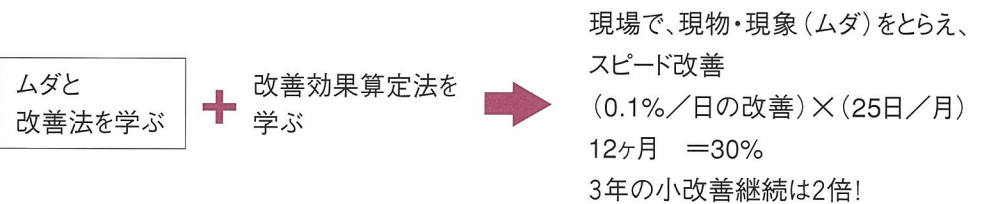
構成

- ① 経営直結型5S定義シート
- ② 経営直結型5S改善シート

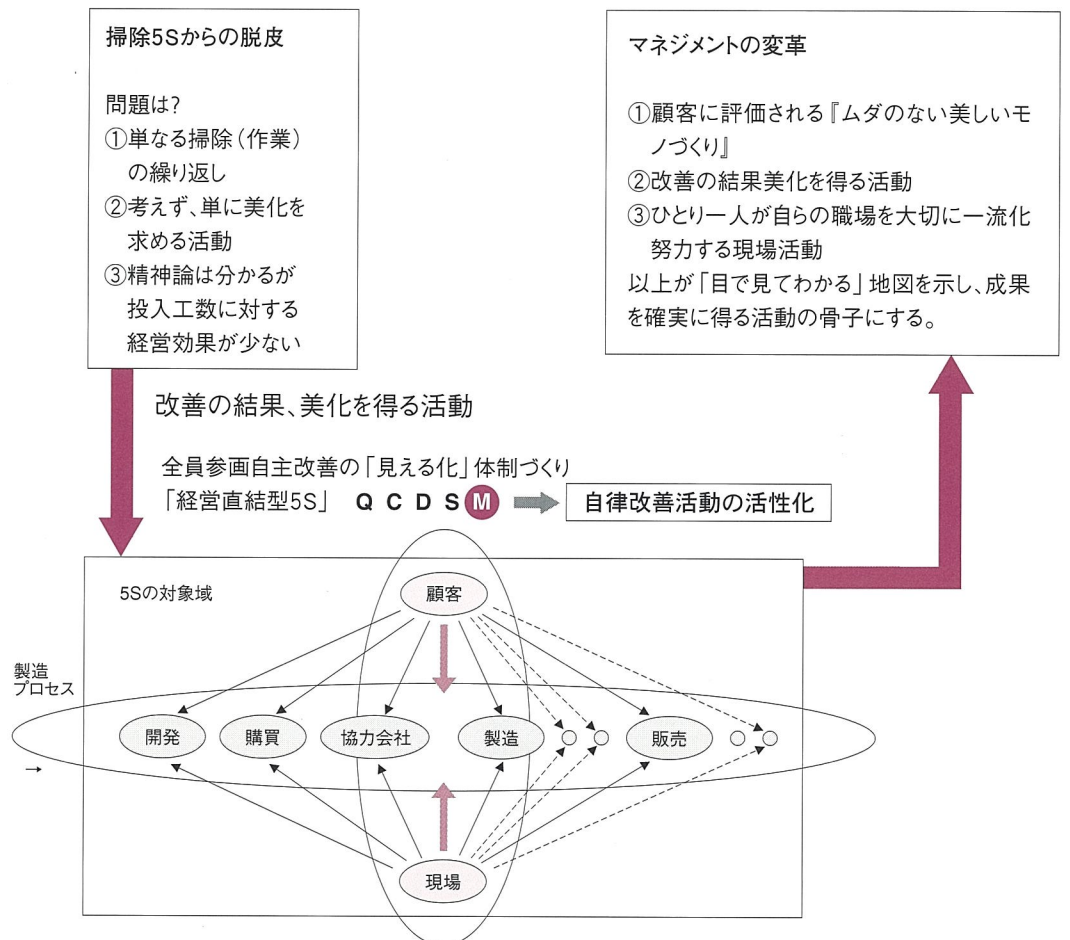
使用目的と特徴

- ① 整理対策：JIT手法適用
- ② 清掃対策：動作経済の原則適用
- ③ 清掃対策：問題発生時点に発生源対策～スピード改善の展開
- ④ 清潔対策：潜在問題(リスク)の予知・予防対策
- ⑤ ①～④を自律改善する対策様式と『気づき』を躰とした実務者の積極活動

シート開発・設計のポイント



シート活用・展開のポイント



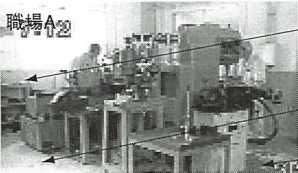
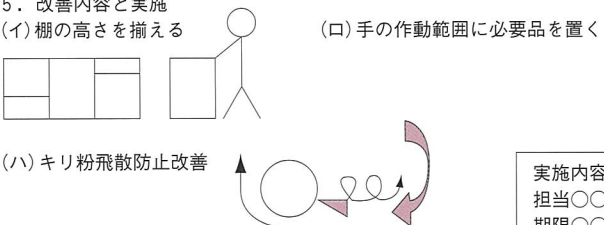
1 「経営直結型5S」定義シート

5S	対象と活用の狙い	適用手法
整理	IN/OUTのバランス対策で仕掛減とリードタイム短縮を評価基準に対策し、キャッシュフローを改善する	JITの適用
整頓	「段取り上手は仕事上手」の名のもと、作業の効率化を追求する	動作経済則
清掃	「清掃は点検なり」と設備の強制劣化の基を絶つ対策と、各種・発生時点不良対策を図る	QTAT (発生時点問題対策)
清潔	問題発生時の潜在問題の予知・予防～未然防止対策を図る	PPA (リスク対策手法)
躰	常に仕事に疑問を持ち、一流の仕事を追求めつつ改善を図る・日々改善・努力	ノウ・ホワイ活動

注釈) QTAT:Quick Turn Around Time, PPA:Potential Problem Analysis

2 経営直結型5S改善シート

例:機械職場のムダ解析

1. 問題・テーマ名: 機械職場の5S対策 特に、掃除のムダ、動作、資源のムダ			記載者 ○○	承認 ○○												
2. 問題の状況 (三現主義で事実をとらえて)			3. ISO面のチェック	マネジメント面の影響内容 (チェックリストで再チェックのこと)												
 <p>①奥の棚がエアレス (空気の置き場) もの取りに体の回転必要 ②手前の台の下は不要物撤去が必要 ③キリ粉を床に飛散させ、掃除の手間必要</p> <p>撮影 5月15日</p>			①ISO9001 (品質面)	①で示すように、治具、工具が乱雑、機械の汚れは強制劣化不良のもととなる危険あり												
			②ISO14001 (環境面)	③の油の汚れと飛散は地球環境への影響がある。掃除道具の廃却はゴミ問題・燃焼は温暖化へ												
			③OHSAS (安全衛生)	油こぼれはスリッパ事故の要因 汚れ環境は健康問題に関与												
			④その他 (原価など)	①~③59Hrは÷8Hr/日=7.4日/年のムダ工数になる												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>問題と程度</th> <th>非定量効果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①整理棚の改善</td> <td>10秒×10回×22日×12ヶ月=7Hr/年</td> <td>美観が問題</td> </tr> <tr> <td>②台の下不要物撤去</td> <td>・不要物5,000円 ・掃除工数10分×4回/月×12ヶ月=8Hr/年</td> <td>美観だけでなく、台の高さが異なる上下作業で疲れが多い</td> </tr> <tr> <td>③キリ粉飛散</td> <td>・掃除10分/日×22日/月×12ヶ月=44Hr/年 ・掃除道具費用5,000円/年</td> <td>美観もあるが、靴底の摩耗、スリッパによる転倒など安全面の問題がある</td> </tr> </tbody> </table>			項目	問題と程度	非定量効果	①整理棚の改善	10秒×10回×22日×12ヶ月=7Hr/年	美観が問題	②台の下不要物撤去	・不要物5,000円 ・掃除工数10分×4回/月×12ヶ月=8Hr/年	美観だけでなく、台の高さが異なる上下作業で疲れが多い	③キリ粉飛散	・掃除10分/日×22日/月×12ヶ月=44Hr/年 ・掃除道具費用5,000円/年	美観もあるが、靴底の摩耗、スリッパによる転倒など安全面の問題がある	4. 改善効果集計 (1) 年59Hrの工数のムダ、(2) 費用1万円/年ムダ	
項目	問題と程度	非定量効果														
①整理棚の改善	10秒×10回×22日×12ヶ月=7Hr/年	美観が問題														
②台の下不要物撤去	・不要物5,000円 ・掃除工数10分×4回/月×12ヶ月=8Hr/年	美観だけでなく、台の高さが異なる上下作業で疲れが多い														
③キリ粉飛散	・掃除10分/日×22日/月×12ヶ月=44Hr/年 ・掃除道具費用5,000円/年	美観もあるが、靴底の摩耗、スリッパによる転倒など安全面の問題がある														
			5. 改善内容と実施 (イ) 棚の高さを揃える (ロ) 手の作動範囲に必要品を置く													
			 <p>(ハ) キリ粉飛散防止改善</p>													
			実施内容 担当○○ 期限○○													